

地球社会基盤学専攻	研究分野	都市・地域計画	Lab. ID GC24
研究室Webサイト	https://urban-regional-planning-lab-kanazawa-u.studio.site/		
研究課題の概要			
都市・地域計画研究室は、都市計画/都市デザイン/まちづくりに関する研究、言い換えれば、よりよい都市/よりよい地域の環境をつくる研究、それらを保全するための研究を行います。 その実現のために、都市/地域/地区により異なる人間・社会と都市空間の関係、人間・社会と自然との関係などを的確に読み、深く洞察することを基本的なスタンスとします。そのうえで都市空間のしくみを解明すること、そのデザイン手法を探ることにより、低成長時代に求められる環境・社会と呼応する持続可能な都市計画技法の実現に資する研究知見の蓄積を目指します。なお具体的な設計活動に関しては研究対象として想定していません。			
研究対象は、都市空間およびそこで生じる現象の特徴を捉えること、都市や地域の空間を制御する仕組み(制度・事業)の課題をとらえること、将来のまちのビジョンを多様な主体の参画により描くための手法を開発することなどですが、決して工学分野に閉じることなく、複雑に関係しあう環境・社会・文化・経済の領域にも足を踏み入れます。			
統合型技術である「都市計画」という研究領域の特性(開発だけ、景観だけ、交通だけ…の理屈では折り合わない)から、その学問領域の中ではあまり分野を特定しすぎず、様々な分野に取り組むことで、実際の都市空間に実装できる技術の進展に寄与する研究知見の獲得を目指します。			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
上記内容と関連し、学生が取り組む研究テーマについても、「都市計画」という研究領域の特性上、その学問領域の中ではあまり専門を特定しすぎず、本人の課題意識や関心と、研究課題の重要性、さらに研究の実行可能性などを考慮しながら決めたいと思います。 一方で教員の指導可能な領域にも強弱があることは承知下さい。 ◎:都市計画制度/土地利用計画/郊外住宅地の再生/公園・緑地計画/景観計画/公共空間のデザイン/農山村の計画、○:市街地開発事業と都市再生/防災・復興、△:交通計画/脱炭素都市/都市解析			
研究室生活の紹介等			
定期ゼミでの成果発表(各メンバー月1回程度)、調査・分析について教員と集中的に議論・作業を行うワーキングデイでの作業(月数回)、先進事例の見学、研究対象地でのフィールドワーク(調査、現場議論)に加え、個人作業により研究を進めていきます。 さらに実践力の向上を目的に、個人の研究以外にも行政や企業と連携したプロジェクト、都市計画コンペへの参加などを想定します。			
教員からのメッセージ			
研究室では、学生間で異なる多様なテーマの知見をメンバーで共有し、議論することを重視し、その先には、学生に、技術を都市空間に実装できる能力、技術を受容する社会との接点(制度・コミュニティ・ライフスタイル)をデザインできる能力を身につけて、プランナーとしての素養を磨いてもらいたいと思います。 研究指導はもちろん、指導教員の過去の民間都市計画コンサルタントとしての、また多くの行政委員としての経験(認定都市プランナー(景観・都市デザイン部門))から、より実践力のある学生を育てたいと思います。			
研究室連絡先メールアドレス	contact@ur-planning.w3.kanazawa-u.ac.jp		